838
297
116

[illegible]
渥美
北山
林
松原
吉田
氏家

奈良
服部
鎌倉
里見
慶増
市石
礒
沼田

藤井
宇佐美
平田
根来
河原
石合

江戸
福島

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

根岸信輔氏寄贈

昭和八・一〇・寄贈

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

行尊 野瀬覚源

寛喜元年百七廿七代
于覚禅院尉寛休
後為了源今居之

行尊 野瀬覚源 居城前州今立郡
女子 能勢判官氏頼仲妻 判官氏代頼 行方子頼之母

行孝 野瀬覚源 妻少孫
行綱
行朝
行晴

行常 源大夫
行寛 覚源
行兼 井上氏
井上伊賀守 岩神神蔵
妻能勢陸大郎 頼之子

頼里 野瀬陸大郎
母能勢陸大郎頼之子
嗣父井上行兼之弟為菅神之後 熱廣社蔵出京住室町之輝之

某 野瀬陸大郎
仕明智日向于光秀 光秀七後
仕太和土御門之長

某 野瀬陸大郎
某 野瀬陸大夫

某 野瀬源大夫
仕明智光秀 光秀七後 匿于高野山蓮花
後知父覚源之招往城前州

女子 能勢 [illegible]

某 野瀬覚源 初名三平
嗣頼之行光源
居城前国池田邑 上荒谷
于城前国谷口邑一向宗 善徳寺
同州鯖口御堂 一向宗

女子 能勢彦千郎 頼国妻 [illegible]

女子 野瀬源大夫 寿

某 野瀬源太郎

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

南山 仕北条氏康氏政 平賜武州岩槻内本邑 定軍五十人 騎士七十
天正十八年 庚子 於十四原城生害

正義 金子六郎 左京進
仕北条氏政氏直
天正十八年 為直江山城守 元次討死

正忠 金子七郎
[illegible]

正忠 金子七郎
為兄 春子

正利 金子 兵左衛門 始兵部丞 葬宇文形邑 長安寺 善慶
父兄 討死 待岩年而遁上州 佐信郡宇文形邑 于原氏 自今西源兵 書勝
為報恩知行之内 於同郡小保方邑 百五十石 地差出 明暦元年十二月二日

政春 金子武帥 兵部丞 于吉伯
仕上州宇文形邑 天和二年五月廿八日 葬同寺

政次 金子武帥 武次 于道栄
住宇文形邑 于保 五代二十七年 葬上野黒川前宝山 [illegible]

藤原
渥美 本国三河 致丸 拾遺 府

渥美與四郎門 貞敬 男
貞吉 渥美與一左衛門
生武州
仕江部伊豆守 [illegible]
[illegible]

貞宰 渥美與十郎
仕江部備中守 [illegible]
[illegible]
[illegible]

貞治 渥美左衛門
実 [illegible] 又左衛門 [illegible]
渥美吉左衛門

某 渥美半助
[illegible]
渥美吉左衛門 [illegible]

某 仕[illegible]
渥美與三郎

某 渥美吉左衛門
[illegible]
渥美半助 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

有故退去至河州為稲屋主水助之弟

長昌　北山甚之助　自是称少部　某　北山

実吉田主膳兼光男　住河州

住河内国府郡

宗行　本江助兵衛　子兩

某　北山新左衛門　源内　領助　伝兵衛　也助

主殿　住加賀国中寺　住加賀国中寺

源氏

林　本国伊勢　従　六平子　梅室

利仁將軍後　林豊前守貞宗後裔

往州住人林左兵衛吉信男

吉雄　林修理　住往州住日田山東

為雄　林伊賀　居毛山左衛門智

某　林彦次郎

道吉　林理左衛門　毛山次郎後住人

少子　某　住往州出太知倉　居毛山後池人

某　林理助

某　林七郎左衛門　源氏　[illegible]

利知　林左衛門　[illegible]

[illegible]

某 林理助 理兵衛
移勢州桑名

忠安 林長左衛門
移勢州桑名
仕松平紀伊守定重
文禄十七年丙子八月五日 安同前十念寺
[illegible]心

立四郎 林九兵衛 佐左衛門
生伊勢
仕伊川長門守

忠貞 林伊八郎

忠貞 林教左衛門

某 林理兵衛

忠明 林要八郎

忠直 林長左衛門
仕加納内中守

平姓
松原 本国近江

桓武天皇四代中納言惟範九世 美濃守 信實 後流
北川平左衛門

某 自伊賀国移江州
仕信長本家

勝信 北川壹岐守
在尾州丹羽郡仕信長 後江州安藏代

勝正 北川善左衛門
生尾州
壽尾州 [illegible] 清水九郎左衛門 但勝 [illegible] 道 [illegible]
生国尾州
居江州安藏 後信長生害 為明智 [illegible] 敗亡 [illegible]
退于河州松原邑剃髪号立善
仕[illegible] 松原 [illegible] 左衛門 [illegible]
此[illegible]

一 [illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

女子

晴義　松原無之郎
元永丁三年四子ハ大任我多知

善十郎　為鷹　松原和泉
善子

女子

女子

惣義政經

仁三郎

藤原
吉田　本國尾張　鈴九曜　宰　九十六葉菊

足利陸奥判官源義康七世　吉田三郎義轉始祖吉田氏
義轉七世孫

守氏　吉田長英入道
尾州岩塚城主
仕織田信秀

守壽　吉田大内記
継父守氏之家智尾州岩塚城主
仕織田信長永祿十一年戊辰九十充法名号釋源英

女子　吉田三左衛門盛春壽

一守
盛春　吉田三左衛門　始飯河三郎左衛門
実　藤原魚名公末孫　飯河[illegible]
兄飯河新左衛門[illegible]不和而到于尾州仕織田信長然為吉田長英[illegible]
守氏之養子[illegible]守氏之女　自是改名守吉田
左正年中死于良俊

盛貞　吉田三郎太郎　無子
母吉田長英守氏女
仕織田内府信雄　左正十八年庚寅仕開白秀次
法名　月心全源

女子
女子　于吉田局
仕開白秀次為局

女子　佐分利　[illegible]　妻
某　吉田孫四郎
仕中村式部少輔一氏　此條氏政乱於豆州而討死廿九
女子　津戸　孫左衛門　妻
女子
某　吉田梅千代　早也
某　吉田内蔵助　早也
某　野呂小左郎　妻
女子　兼松源兵衛　妻
某　吉田五郎三郎　為兄三郎左郎養子早也
女子　佐田江左衛門　[illegible]　妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

守勝　吉田三之丞

母　蒙古房

若年而仕織田信雄天正十八年度寅父同為浪人同十九年丁卯
仍招仕吉田兵部大輔重勝
文祿元年壬辰渡海朝鮮國屬吉田重勝數度以館接戰重勝
賜藥研鍔歸國後也
慶長五年庚子正國之兵仍召指揮攻來于鼎州松坂城此時富
為攝兵則率雜兵共五百餘兵自松坂城打出大戰敗西國軍
故無利退云為此時守勝得首二級
同年重勝戰功遲　上聞加後二万石凡領五万五千石曾是守勝所
得加後三百石四知併得六百石
同十二年丙午年六十六吉田兵書於口戶而卒甚男者也僅二歲於
秀勝州松坂城食邑五万五千石賜之重勝守勝兼治此時有不應
心以退吉田家同十二年丁未仕福島左衛門尉廣島
得三百五十石

勝明　吉田三弥　嘉左衛門

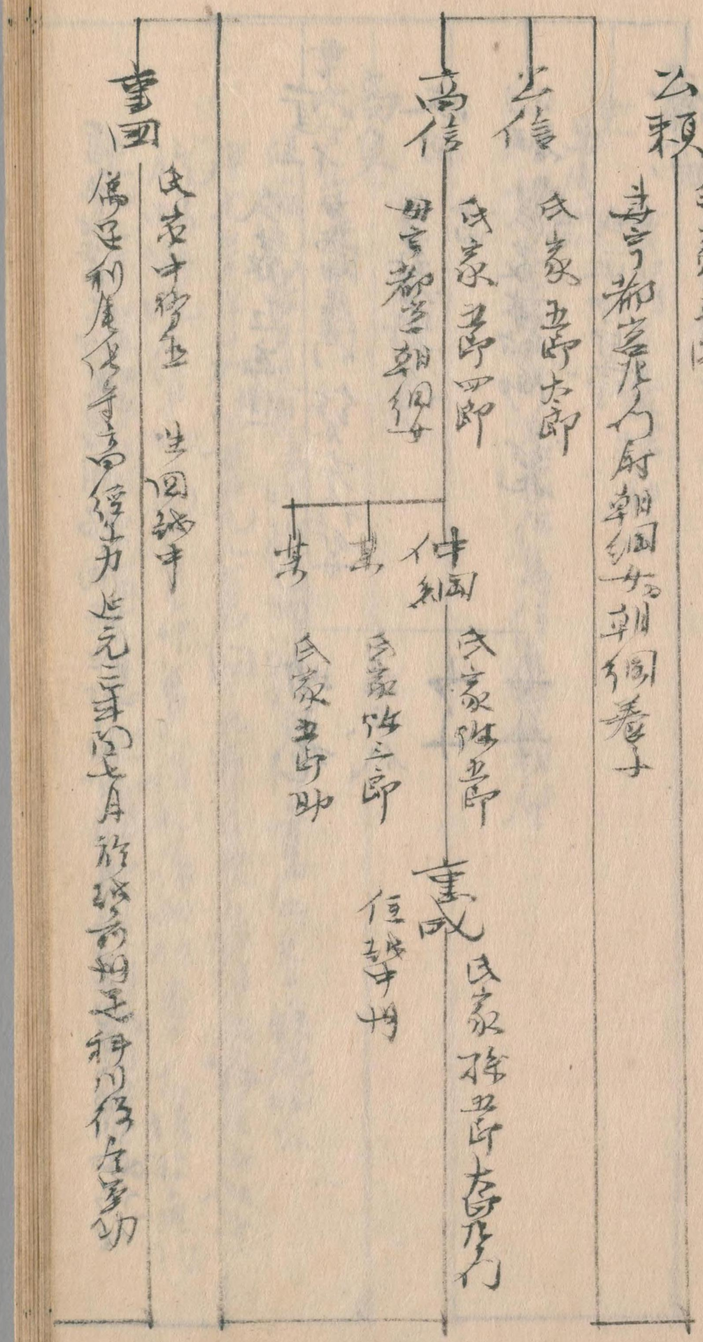
母

生國伊勢
継父守勝之遺跡三百五十石仕福島左衛門尉廣島
元和五年己未福島正則砲流故為浪人同六年庚申仕本多壽乃守
忠政得金百五十石
寛永十二年乙亥仕世相左衛門尉光重

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

氏家



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

尊氏以賞之於美濃國賜國所地數箇處自是居濃州安八郡高須[illegible]

重任　氏家左京進
母張中華門　鎌倉門[illegible]

政國　氏家[illegible]門
母同

國綱　氏家半[illegible]
母同

某　氏家[illegible]
母同

僧

明亮
直千代
女子
女子

高階姓
奈良　本國尾張
美武天皇第二皇子高市王六代神祖伯奉諸侯[illegible]
坂尾中務大輔泰明二男

泰高　奈良但馬
母江州　奈良掃部女
生尾州
曾母方奈良氏子奈良但馬住尾州[illegible]郡

高良　奈良權大夫
母中[illegible]生國尾州
住坂尾世[illegible]
唐[illegible]加往三百石[illegible]
於鴨野[illegible]
元和二年[illegible]加[illegible]五百石[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

宇多源氏
慶増（ケイソウ） 本國近江 紋四目結

宇多天皇九代佐々木源三秀義孫万木太郎左衛門尉廣綱後胤
江州坂田郡慶増住人慶増入道大夫道佃嫡男

通綱
慶増大和守 三好清幸属事功
居江州坂田郡長澤属佐々木六角

昌綱
慶増左兵衛尉 若年而死

昌綱
慶増入道大和守 初名彦七
居江州坂田郡長澤属佐々木六角

直綱
慶増彦六 安大夫 左兵衛尉 母多賀甚行女
居江州坂田郡長伏属佐々木承禎 禄三千石余
永禄年佐々木承禎後仕後到因州邑美郡鳥取城属宮部中務卿法印継潤
月俸七十石 文禄四年采八十六知行三百石 慶長三年十月加八百石九千百石
自弱年為江州五個八木兵庫頭之役門御鎗法得奥秘五個流

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

仕酒井河内守重忠雅楽頭忠世

某　妻松源兵衛　某　妻仁源三　夭

母同

仕石川太郎左衛門主神通

女子　尚

重常　有馬　縫殿　早死　某　有馬徳之助　夭　某

仕酒井雅楽頭忠世

重昭　市右新兵衛　母

仕酒井讃岐守忠勝

勝幸　有馬忠右衛門

仕酒井雅楽頭忠世同河内守忠行

則長　市右　清右衛門

元和七年中於駿州田中始仕酒井侍後守忠利得二百石同十八年御子同来

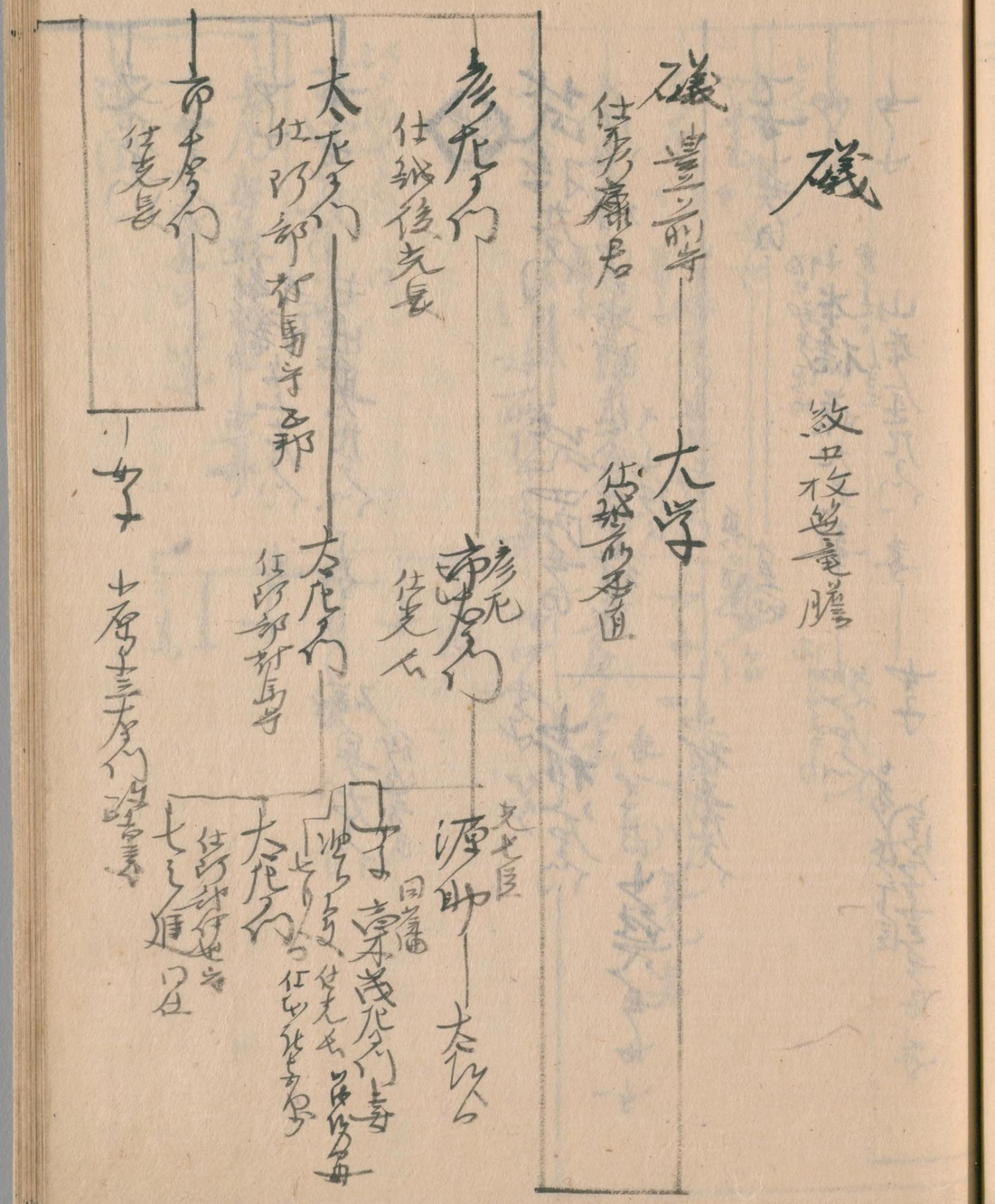
此方同時移武州川越郡川越町司元和八年壬戌二月死

則昭　市右新兵衛門　東　市右侍右衛門

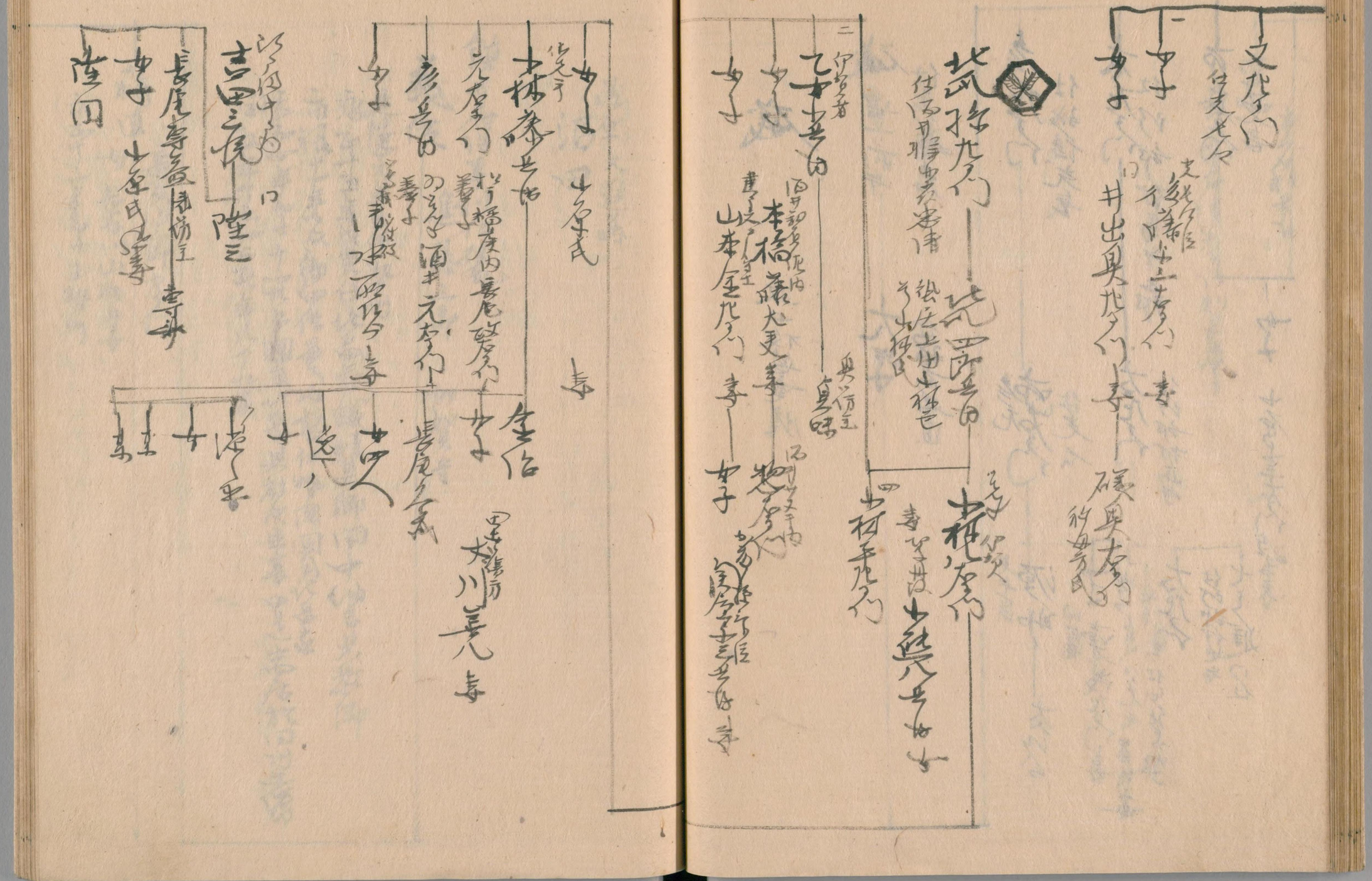
忠利少任元和八年夏父贈二百石

寛永七年丁酉忠勝移右田中濱時加守右衛馬廻

正保元年甲申十二月死



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

藤原 元進藤
沼田

鎮守府將軍利仁後亂
義俊　進藤三郎　加賀守

延德元年生伊勢州
永正十五年戊寅仕北畠參議晴具卿
永祿十一年戊辰 織田信長攻襲伊勢國國司北畠家
天正四年丙子 十一月五國司北畠具教令生害 由是宗居於同州安藤郡
同五年丁丑 四二死年八十九歲

長谷川二郎左衛門
藤直　母 長谷川山城守女
永正十三年丙子 生勢州

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用

仕當時教令具教令回司之後改母方氏三宮川勢居
天正九年壬辰八月死年六十六

義興 進藤左兵衛

天永三年丁巳生伊勢州
仕當彦德時教令同中納言具教令天正四年丙子為德田信長廿四家
亡故勢州安濃郡
天正十四年丙戌四十八死年六十五号法名休山
妻
女子
女子
勢州北畠家臣 田掃部助 妻

成興 進藤佐左衛門

母春田氏
弘治二年丁巳生勢州
天正四年丙子仕當内府信雄

信雄遷于越前州大野後浪人在京都關原乱之後閑居下向以緣族叢
赤林半兵衛故出于常州水戸謁 頼房卿賜月俸十口
寛永六年己巳歿年七十三
女子
閑
吉喜多寧相臣
乙部 源次郎 改進藤三左衛門 妻

興政 進藤久右衛門

生京都
女子
女子
女子
某
駿河大納言殿内大番
依田伊織 妻
近衛殿内
渡邊 河内守 永江 妻
進藤左次郎 [illegible]年[illegible]死

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

平姓

藤丹　本國伊豫

江戸太郎重行後胤

江戸太郎重継孫太郎忠重女子而小野太郎重行之妨父共到于相州而遊于泉州堺河野對馬守通有上京時見之以媒而芝之時太郎重行從于妨到伊豫州數年後令二男屬于河野家故于開東云々

重遠　藤丹　全庵入道　領伊豫國藤丹

屬河野遠江守通朝於伊豫國瀬田城生吾年六十六善應（真治元年壬寅八十二六）

某　藤丹太郎　父同生善

某　藤丹竹次郎　父同生善

女子　竹山三郎　通國妻

女子　久保氏　某　妻

某　藤丹五郎　於瀬田城討死

重遠　藤丹全庵入道　領伊豫藤丹

重勝

重吉 義

藤井六郎兵衛尉

貞治元年壬寅父死亡時年十三歲遷于同國難波大通寺及長仕河野刑部太輔通直康曆元年己未十六細川氏藏寺賴之來攻河野通直於吉岡而河野無利令討死重吉亦討死年三十

重任

藤井六郎太郎　壽廿番

父討死時年四歲母共往于西園寺殿成長仕河野刑部大輔通久於筑丹嫗嶽軍功通久討死後屬河野安藝守通直長禄二年戊申死于道雲年八十三

一 某 藤井兵大夫　甚太夫　甚武

二 某 藤井新三大夫　住備後州　女子

三 某 藤井兵六郎三郎　于福角

四 某

六 女子　得野志少守通直妻

義任

藤井善四郎　宮内丞

童得野志少守通直男

童母　藤井云　廿番事住女

住河野安藝守通直　法名道信

某　藤井善三　五郎兵衛

能房

童得野志少守宣能男

童母　別府後中　女

住河野刑部通直同教通

法名宮悟

朝義

藤井九郎太郎　九郎左衛門

母某氏

永祿年中到因州鳥取渡山名伊豆守同十二年自仍山名之工知攻備後州杉原播之守與重頭軍功然山名信濃者言不賞藤井之功故去而住石州屬吉見大義大輔　應長五年庚子毛利輝元城村吉見大義大輔而為山知建退吉見之家執居

女子　久　海部左近　壽

女子

女子

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

義陸 藤井與兵衛 嘉内 實家山條兼記 前名金平幸多
天明四年辰四月八日死 七十 同姓山田道義 実父所
号知光院
妻 中村若村青木新兵衛女
安永十丑三八日七日死 聖岩院妙智大姉

女子 伊勢國桑名人 山根市郎左衛門妻
天明八年十二月十二日死 蓮室妙雲大姉

慶明 藤井與兵衛
安永七戌年十二月五日生 号宮本庵 實父信房
妻大庭八郎右衛門女

伴禮 藤井嘉郎 藤十郎
安永十丑年二月三日生 号畑ヶ迫邑 播磨屋仁兵衛養子 号寺院

女子 津和野 常光寺西光上人妻
寛政三年十六年 妙夏

妙 文政十四年六月二十八日 母
文化二年丑八月廿八日 妙意

義積 藤井與兵衛
天明八年九月十八日死 同年年月日 号正道院
妻 江崎淸右衛門女 生ニ女
寛政七年十月三日死 慈芳慶妙壮信女

修 津和野 吉村新左衛門妻
文化七年七月七日死 古代 智芳院

女子 文政九年六月十日 妙智信女
文化十三年七月

金四郎 文政四年九月十五日 鑑月照昌信士

文成 文政二年十一月廿八日死 智蓮信女

當五郎 文政三年三月 道曜善信士

義叔 文化十四年三月 芳明意浄信士
文化十四年十二月 謙信士

女子 善知 堀屋十郎 伴義妻
文化十二年九月八日死 清妙院

女子 萬田住人 土田伊兵衛妻 妻りか
安永九年八月七日死 廿三才 隨喜貞順大姉

文助 安永四年六月十六日 田水村 短流信士

女子 當國住人 堀江善助妻
天明四年四月十五日死 明日…寂照大姉

民助 明和八年四月二十四日 建光童子 十二才

義孝 藤井與兵衛
妻 津和野 佐藤戸三郎長女 多
文化元年九月十五日 享年二十五才 慈敬院
後妻 同人二女 小子 生三男三女
文政八年四月九日死 三十九才 妙光院

御當山様酬義孝無怠 伴徳之介 自御勘所 御田邑 室太夫 銀山町
八軒町難場合 皆率 請于朝 出于御裁 御免許 留回介 …清浄院
賜於公 備中庭 賞

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子　コマ　明和八年十二六夭　教授書

義正　藤井五右衛門

伊家住日原
文政七年八月廿七日五十三年　知合[illegible]
妻[illegible]　山根長左衛門女

女子　[illegible]　藤十郎　伴徳寿ツテ
文政九八月廿五日三十[illegible]

女六　[illegible]

喜成　[illegible]

女子　[illegible]

女子　[illegible]

藤井[illegible]右衛門義誕寿カト
老代二年子九十九廿三年[illegible]

藤原
宇佐美　本国駿河

宇佐美左衛門尉祐茂十三世

祐孝　宇佐美左衛門尉

道宣　宇佐美能金守入道

孝忠　宇佐美越中守
越後国琵琶島城主
仕長尾為景

定行　宇佐美駿河守
生国越後
仕上杉謙信　越後州琵琶島城主

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

勝行　宇佐美　氏部

退誠後國仕佐々陸奥守成政ニ小西掃守行長
後勢居于奥州會津　又移越後上杉

勝興　宇佐美造酒助

大坂役爲村瀬左馬助平省軍功後仕本ノ十納言頼房卿
後退身自本ノ家　奉公構々

定祐　宇佐美左助・左馬助　于大開氏

仕紀伊光貞卿　祐大開氏

孝定　大開造酒助

定昌　宇佐美

仕真田伊豆守

某　宇佐美

母小橋氏

寛文十年庚戌四月生于信州小諸　依父々遺命仕紀州
宝暦二年壬申四月致仕于松陰
同五年乙亥二月五日卒年八十六

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

定

宇佐美

母伊藤氏

宝暦二年壬申四月致仕

明和元年甲申壬十二十三死年七十二

女子 豊 嫁平野氏

定昭

寧和二年癸亥五月九死奔宕福聚院于 獨松院天山亮秀屋

女子 嫁田中氏

為泰氏養女

女子 嫁宗生氏

祐之

宇佐美 長右衛門

文化三年丙寅四月廿五死年七十九奔福聚院

于正受菴哲公羽隆雅屋

妻 竹山元筑 養女 寛政元年酉三五死年五十

于春章院華雲妙賞姉

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用

藤原

平田　本国　紋三葉柏

右職冠鎌足曾孫兼名十六代
大納言家成三男

章隆　羽床太郎　周防守　藤大夫
母羽床大夫結部貞宣女
生国讃岐

資高　羽床藤大夫

親高　羽床太郎　藤大夫

室高　大野藤大夫

重資　大野藤郎大夫

室基　大野右兵衛大夫　承久兵乱之時奉候讃州之軍勢奉院御方会戦依之
大野藤大夫　被没收所帯之地畢

資高　令嫡子相續

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用

重員 羽床新藤次

女子

女子 羽床 作九郎 福家二郎 資基妻

重俊 号心蓮

長資 羽床六郎 正應四年卯四六死 号心浴

時資 羽床七郎 長知 羽床同藤太夏 長久 同太郎

長頼 玉井九郎 基長 同九郎

資景 羽床二郎 号順心

頼重 柴野四郎

政基 羽床作二郎 自父前死

女 福家二郎 資基妻

基光 平尾作二郎 号宗心

基俊 平尾藤太夏 号道順

基兼 平尾又次郎

道基 平尾二郎三郎

能基 有岡冬二郎 羽床越前守

元弘始蒙 後醍醐帝勅命催一族候御方尽軍功 天皇於吉野御崩御

後擁城郡于所々属官軍励忠 観應二年卯三二死

号道運

知資 羽床彦次郎 兵庫助

属細川武蔵守頼之励軍功 貞治元年於徐州淵田山城攻一番乗分捕

應安元年於河州八尾先登尽軍忠 同七寅年三三五 号道真

女子

重知 有岡三郎二郎 筑後守 香西四郎三郎 重経妻

重資 羽床伊中守

知次 石川太郎

女子　南山二郎　伊縄妻

女子　平尾又二郎　基兼妻

資信　平田小次郎

属兄知資郎軍忠負治元年豫州瀬田山城攻被死應安元年河内八尾軍進先陣安蒙死永徳二年義十九死于金勝

資能　平田彦三郎

僧　于祖熙坊

資國　平田小三郎

属細川武蔵守常久道於豫州軍功得首級

應永世四年丁丑四五死年五十八

女子　平尾又二郎資兼妻

女子

資智　平田小二郎

于淨元

資能　平田小三郎

属細川持常永享十二年於和州龍門山厨軍功得首級嘉吉元年於播州合鎗得首級

于淨智

信智　平田左京進

実吉川小三郎信綱子

信吉

資次　平田弥三郎

次俊　平田淨圓

仕細川右京大夫澄元永正四年丁卯八月日橋合戦有背軍令暫閑居後剃髪到于越前州同九年壬申死年七十三

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　ガラス使用

次康 平田
居越前州

家次 平田右京

經家 平田九郎左衛門

經政 平田福心齋

定

高田村之儀全知行として

田畠陸荒野屋敷を扶持

候也

天正十

六月廿日

竹原村

平田

とも(?)け

吉正 判

天正十年十五 堀久太郎秀政越前ノ郡侍物書

政俊 平田三郎右衛門

生國越前

長谷川藤五郎越前國大郡時物書

定

一 我か地見より申候高田村

縄うちいたし知行を(?)

一 居屋敷四町之事

一 同田三反三畝之事

許年々免也

[illegible]かくのごとくの人

元和九年癸亥於北越前州　忠昌君隠右京大坂冬陣戦功　加増六百石
寛永元年甲子七月従行于南城為先弓頭　同五年戊辰七月七死
号等覚院亭宗信
妻　堀多出雲守篠川氏女　寛永十七年庚辰十一月七死
号行信院妙信信尼

盛永　始　根来彦兵衛
母篠川氏
寛永五年戊辰父跡因嗣三百石為大番後普請奉行後有故為浪人

某　向井清兵衛
母伊賀人　服部勘六郎女

光成　根来半兵衛
市郎兵衛死後乃光久養子

某　根来市兵衛
母同
後根来元久養子
母同

善房　向井清兵衛
後為根来半兵衛光成養子

某　馬場九十郎

元久　始　向井清兵衛　根来右京
寛永五年戊辰父跡相続三百石為大番與御小性組其後為目付後勤日光普
請奉行　先道之命改根来右京為西丸留守居後物頭
延宝四年丙辰四月死　号根慈院真照永寛居士
妻　秋山加兵衛女　寛文十二年壬子正月六日死
号自西院東堂妙圓大姉

女子　秋元勘之丞尭吉妻

某　根来市郎兵衛
実同姓某喬知三男
寛文二年壬寅八月五日死
号宗雲院宗操禅定門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116　　ガラス使用

某　根来清次郎

宝

字保九年丁巳三十一跡目百五十石大番同十二年丁未十二十六使番　小栗九右衛門

同十四年己酉六十九死于浮心院敬信居士

某　根来源五郎　定八　源大夫

寛梅田段右衛門　三男

字保十四年己酉跡目百五十石大番　寛保二年壬戌九十九休息

明和二年乙酉五十五死于鷲峰院　休永居士

某　根来半兵衛

寛梅田段右衛門　三男

寛保二年壬戌九十九跡家督減五十石賜百石大番

宝暦六年丙子四十死于夏井路院了休居士

常弘　根来清次郎

寛中村庄大夫　二男

宝暦六年丙子六十二跡目百石大番明和五年戊子七十三年小性安永二年癸巳

正十五近習番　後書院番同七年戊戌十二十六具納戸役

大明二年壬寅正五死于春山岸院了　曾居士

妻　横井久大夫　女　天明二年壬子九四死

于本義院妙了日華大姉

常勝　根来善次郎　半兵衛　妻本山鉄司妹梅　文政二年甲午

大明二年壬寅二十五跡目十五歳王備故賜月俸十石為寄寺居番

同四年丁巳十十一十五歳故賜新知百石為大番同六年丙午五十一小性見習

同七年戊戌八十六小性寛政六年甲午三九近習番書院番同十二年庚申

定府同年四十八具納戸格同年八五惠役于和二年壬戌七十一表役免絆為

膳番格式同三年癸亥十二十五　中野居膳番

一緝 孫四郎 參考門中村文助 為中村文助一澄
世間 養子

女子 美衛 武澤四郎 改美姜

庸昇 根来熊次郎 清支 左支
実三寺與考門 勇
文化十二年乙亥九月為養子文政九年丙戌三十六家智廿名三口新番
同十一年戊子十二三廣式流番後同日子度次郎江戸治同十五日出立此日
口戸 同十二年乙丑八十三右筆書方手傳同十三年庚子八七徒城

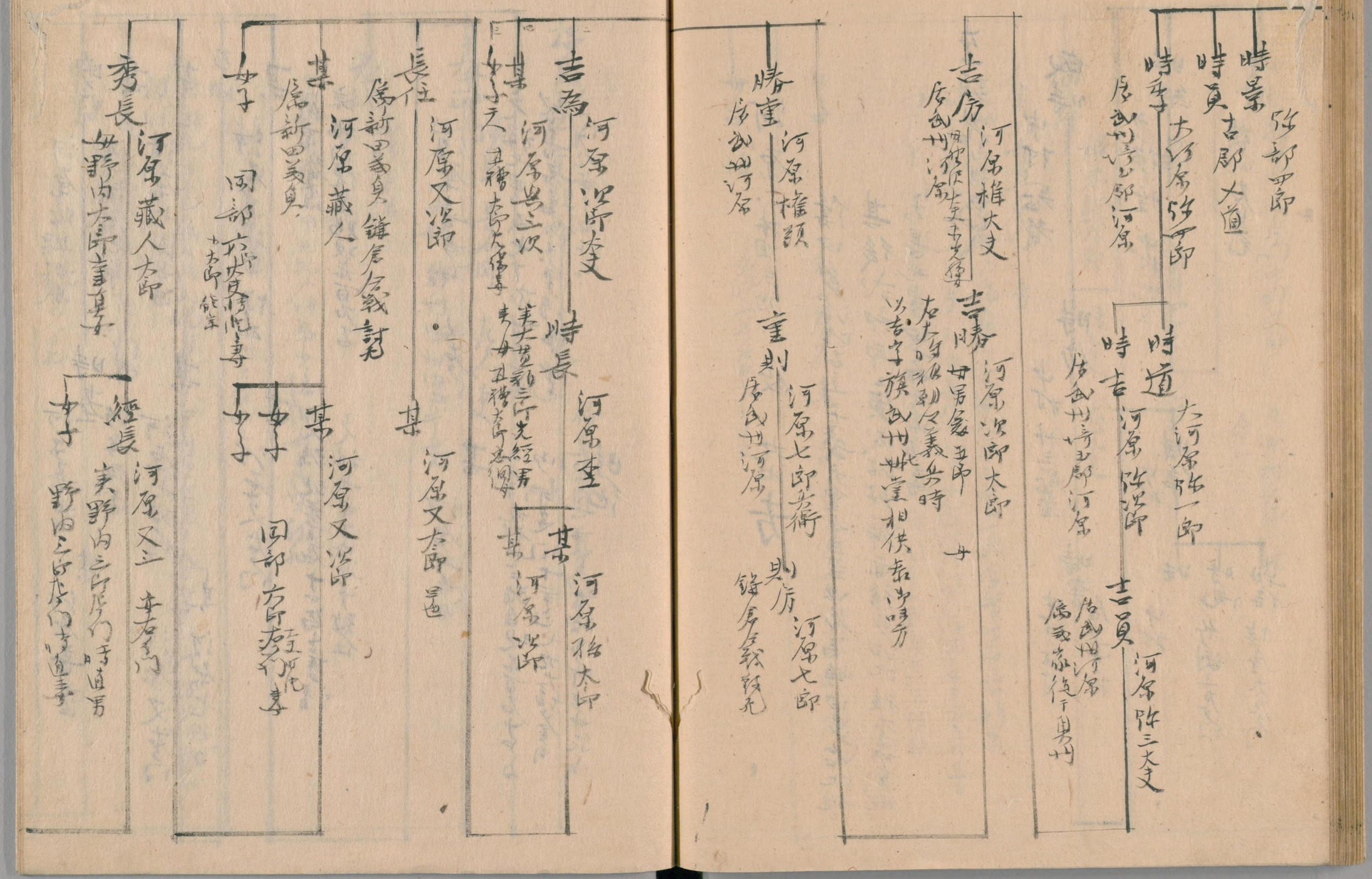
女子 養子 庸昇妻 文政三年庚辰十一月八日子解了院

女子 恒 文政二年庚辰十一月五生

丹治
河原 本国武州 敏 丸内 方
傳曰 多治比古主 天武天皇十三年以名為姓 曰多治比姓
其後武部卿 廣成改丹墀 亦復多治比 後本姓真成
天長九年 四十五号丹治為

本頭丹治真成四代

成時 中村冠者
時房 中村丹三冠者
時重 中村冠者 居上中村
時經 今横胜 中村忠三
時信 中村
時 中村
時風 竹渕三左門
朝信 塩屋太左門
時綱 横畑右馬元



時景 陸部四郎
時員 吉郎 又道
時季 大河原陸四郎
居武州埼玉郎河原
時道 大河原陸一郎
時吉 河原陸次郎
居武州埼玉郎河原
吉員 河原陸三大夫
居武州河原
屬義家後于奥州

吉房 河原椎大夫
居武州河原
吉勝 河原次郎太郎
母男爲五郎
右大將頼朝公義兵時
以吉字旗武州七堂相供奉御時方
女

勝重 河原權頭
居武州河原
重則 河原七郎兵衛
居武州河原
則房 河原七郎
鎌倉合戰致死

吉為 河原次郎大夫
時長 河原重
河原兵三次
其大豊前三郎先經男
其母丑禮大郎忠綱女
其 河原次郎
其 河原孫太郎
女子 丑禮大郎大保寿
長任 河原又次郎
屬新田義貞 鎌倉合戰討死
其 河原又太郎 早世
河原藏人
其 河原又次郎
屬新田義貞
女子 岡部六郎 大夫 博陀寿 大郎能宗
女子 女子
其 河原又次郎
岡部六郎 左衛門 尉 寿

秀長 河原藏人太郎
母野内太郎重真女
經長 河原又三 本右衛門
実野内三郎 時道男
野内三郎 時道寿
女子

助時 河原弥五兵衛

某 河原弥七郎

某 河原七郎兵衛

時基 河原喜兵衛

某 河原弥蔵

某 河原七右衛門

某 河原喜兵衛

某 河原又右衛門

某 河原七兵衛

某 河原玄蕃頭
於京都仕
東福門院御賄 現米百石

某 河原又右衛門
父跡現米百石十口馬 喜兵衛請
元禄七年 七十致仕

某 河原喜兵衛 安右衛門
元禄七年 七十 京都 ……
現米百石 ……

某 河原七兵衛
宝永九年 七二 跡目現米百石十口馬
御……
同……

福島左衛門大夫親成 ― 繁成 福島九郎 左衛門大夫

基正 福島善九郎 左衛門大夫
仕今川氏親 駿州遠州内二千貫

基親 山形淡路
仕今川氏親
大永元年 …… 討死

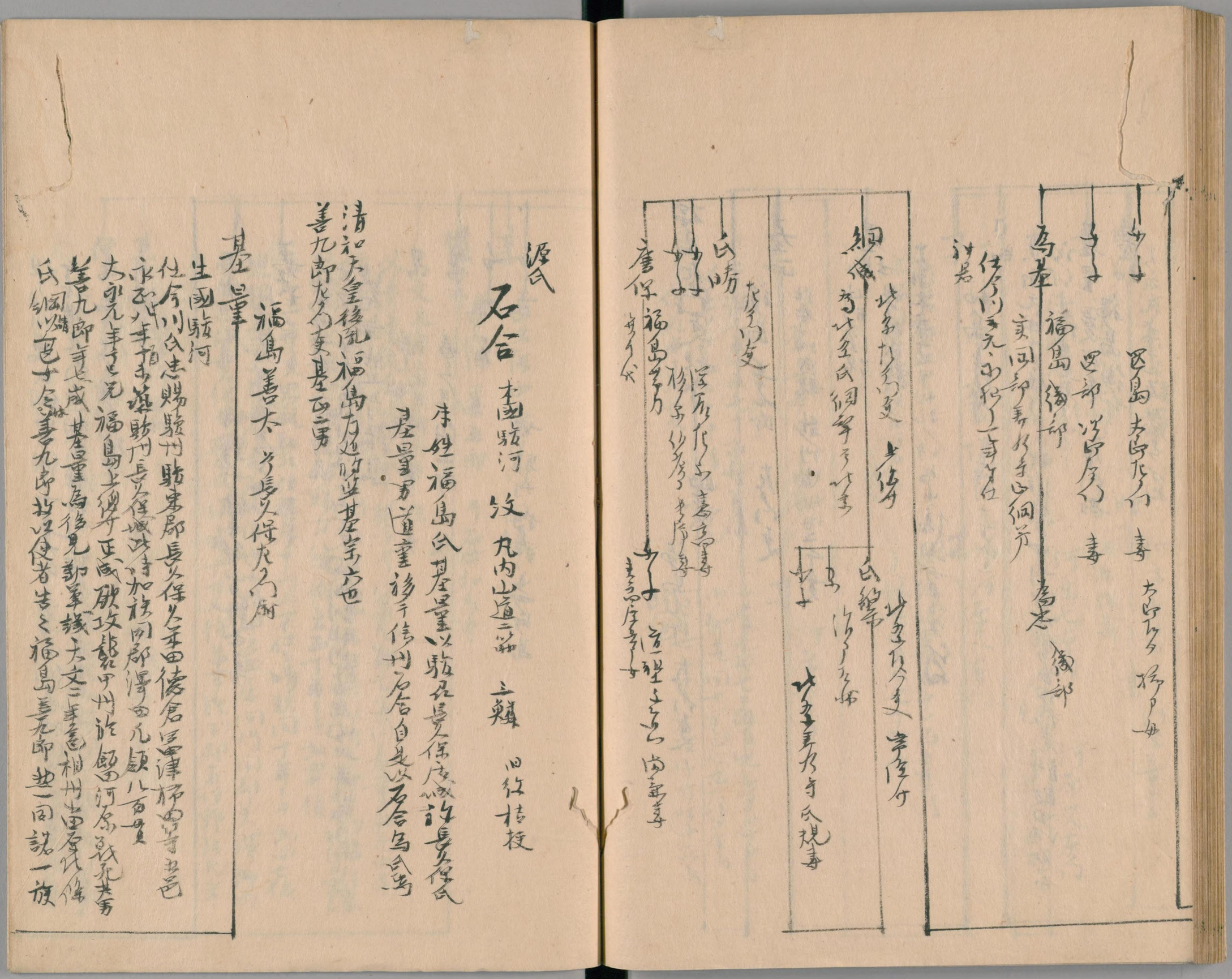
正成 福島上総介 遠州土方城主
大永元年 …… 今川氏親 …… 甲州 …… 武田信虎 …… 飯田河原 ……

基量 福島兵庫 長久保城主 左衛門尉

基知 福島 ……
大永元年 …… 討死

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



源氏

石合

本國駿河　汶　丸内山道二篇　三難　旧称桔梗

本姓福島氏　基量以駿州長久保城許長久保氏

基量男　道重移于信州石合自是以石合為氏焉

清和天皇後胤福島左近將監基宗六世

善九郎左衛門吏基正二男

福島善太　兼長久保左衛門尉

基量

生國駿河

仕今川氏忠賜駿州駿東郡長久保久平田德倉富津柿田等五邑

永正八年頃未藥駿州長久保城此時加族同郡澤田凡領八百貫

大永元年于巳兄福島上總介正成厥攻龍甲州於鰐河原戰死其男

善九郎年七歳基量為後見勤軍議大文二年意相州山田原氏係

氏綱以書寸念体善九郎故以使者告之福島善九郎然一同諾一族

住于相州篠氏綱以氏綱之女妻善九郎為寿氏綱善拶綱子称善九郎自是
于此從左京大夫氏綱領相州鎌倉郡其總也改從于三輔 此時以基重
為[illegible]從氏綱之麾下
号淨寺

女子 嫁駿州藤重郎吉野邑主

基利 長久保年人[illegible]
永正十七年生于駿府
天文二十年為北條左京大夫氏綱到相州小田原同二十一年於由比川戦殺
弘治元年廿五歳隨應

某 長久保牛之助 夭

某 長久保仙之助 夭

女子 夭

女子 嫁駿州狩野[illegible]

某 長久保四郎左衛門 因幡

道重 長久保善五郎 号石倉和泉守
天文元年壬辰生于駿州長久保
父基重依為北條之麾下今川義元攻之 其間基重討死 由是
道重依若年遁往于甲州仕左馬助信繁 所々属軍功 信玄
信繁感状數通皆有之 後帰力無[illegible] 天正十年壬午武田亡後
天正三年[illegible]戦後歸居于州内不仕于晴頼同十年壬午武田亡後
[illegible]其田安房守信幸属信州小縣郡上田居同州同郡矢澤郷内
石倉邑改長久保号石倉氏 同年六月廿七從昌幸依同郡有坂野戦死年
五十

基永 長久保七兵衛

女子 嫁[illegible]

僧 号一靈坊

838
297
116

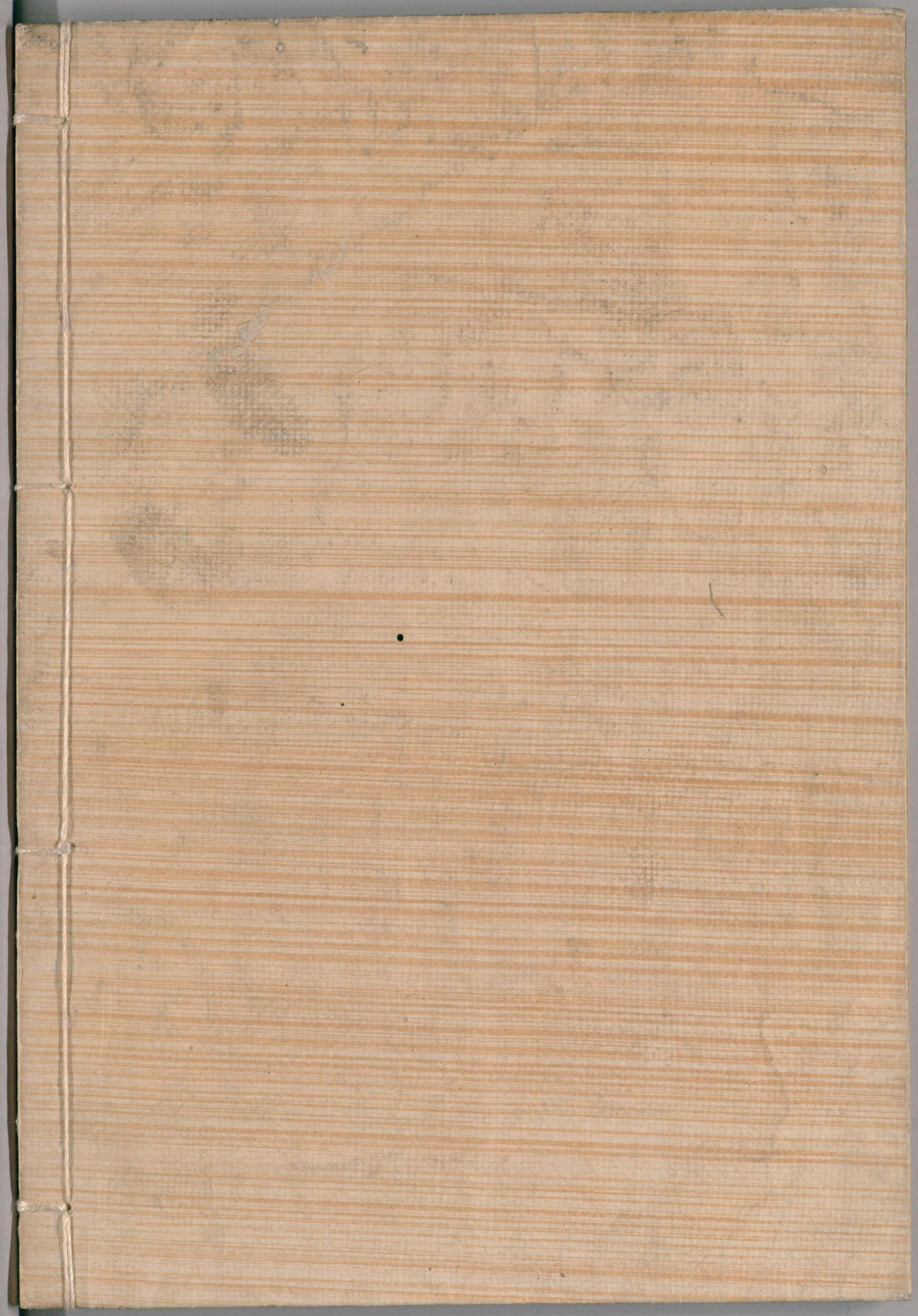
道相　石舍新左衛門
母甲母　石屋伝成女
去四十年年丈元七後居住信州小縣郡有五新町無此地信多年孔氏
石居無親為荒地道相節異財于離散氏法到于[illegible]信年大
喜授除地于道相亦謂其地於長久保[illegible]

道房　石舍庄次郎
母同
唐七十九年丁子属其田尾右衛門信村到拝州大坂家僕白井藤吾伴源六
其外数輩召連之云々

道定　石右十成
生国信州
継父道相之跡

重勝　石舍作吉郎
宗貞　石舍市十郎
為兄重勝子
為叔父道房
去跡
清本文
邑長　八左衛門
[illegible]
平左衛門

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用